兵庫県保険医協会北阪神支部・第 34 回総会　記念講演

市民公開
入場無料

自分で決める、子宮頸がん予防 HPV ワクチン

日時　11 月 4 日 (月・祝)　15 時～ 17 時

会場　宝塚ホテル　シルバーの間

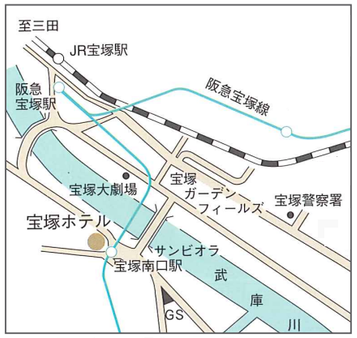
講師　医師・ジャーナリスト　**村中 璃子** 先生

後援　兵庫県産科婦人科学会、宝塚市、川西市、宝塚市教育委員会、川西市教育委員会、阪神北県民局、神戸新聞

子宮頸がんワクチンは、HPV（ヒトパピローマウイルス）が子宮頸がんを引き起こすというノーベル賞を受賞した画期的発見をもとに、2006 年に開発された人類史上初のがん予防ワクチンです。WHO も接種を強く推奨し、約 140 か国で使用、約 80 か国で定期接種となっています。日本でも 2013 年 4 月に定期接種となりましたが、接種後に起きている、歩けない、痙攣する、体が痛い、勉強ができなくなったといった症状は、子宮頸がんワクチンのせいであると訴える人たちが現れました。

ワクチンと症状との因果関係の科学的な証明は世界のどこにもありません。世界中の小児科医は、似たような症状をワクチンが開発される前から思春期に多く診ていました。しかし、日本政府は、定期接種化から 2 か月後の 2013 年 6 月、HPV ワクチンを定期接種に定めたまま「一時的に積極的接種勧奨を停止する」という決定を行い、HPV ワクチンは事実上の接種停止に陥りました。

毎年失われていく約 3000 人の命と約 1 万個の子宮は、ワクチンと検診で「ゼロ」にすることができます。本講演はワクチンの接種を推奨するものではありません。接種の決定に必要な正しい知識と情報を提供するものです。【村中 記】



アクセス：阪急宝塚南口駅よりすぐ

プロフィール　医師・ジャーナリスト。北海道大学医学部卒。一橋大学社会学部卒、同大学社会学研究科修士課程修了。現在、京都大学医学研究科非常勤講師、ドイツ国立ベルンハルトノホト熱帯医学研究所研究員。2017 年、科学誌「ネイチャー」主催、ジョン・マドックス賞を日本人として初受賞。著書『10 万個の子宮―あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか』、平凡社、2018 年。

（切り取らずにご返信ください）　**【お申し込み 】FAX：078-393-1802**

■総会議事（宝塚ホテル 若竹の間　14：15 ～）に参加します　（　　）人

■記念講演（宝塚ホテル シルバーの間　15：00 ～）に参加します　（　　）人

■懇 親 会（宝塚ホテル オーシエルの間　17：00 ～）に参加します　（　　）人

地区　　医療機関名

氏名

TEL　　FAX

兵庫県保険医協会
北阪神支部ニュース
2019年10月25日号　No.299
発行者　兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長　中井通治
〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル５階
☎ (078) 393-1801　FAX (078) 393-1802
http://www.hhk.jp/

在宅医療研究会「神経疾患と便通異常～新規下剤の使用を含めて」

排泄管理の知識深め 患者の生活を向上

便通異常が引き起こすリスクについて詳しく解説

支部は 10 月 5 日に在宅医療研究会を伊丹市内で開催し、会員や介護事業所職員など 29 人が参加した。「神経疾患と便通異常～新規下剤の使用を含めて」をテーマにつちやま内科クリニック（西宮市）の土山雅人先生が講演した。

土山先生は便通の基本的なメカニズムを解説し、食事の量が少ない「食事性便秘」や、運動不足や加齢で腸の動きが低下する「弛緩性便秘」などさまざまな種類の便秘を紹介した。

また、パーキンソン病でみられる自律神経症状のうちで、便秘は最も頻度が高い症状のひとつであり、脳内のドパミン濃度が低下することで、消化器を含む全身への運動の指令がうまく調整できないためだと解説した。

（次のページに続く）

（前のページから）

さらに土山先生は、便通異常により、薬の吸収不良や症状悪化が引き起こされる危険性を指摘し、特に腸閉塞はパーキンソン患者の主要な死因の一つであるが、便通異常に対する特異的な治療法はないとした。しかしながら、食事内容や水分摂取に注意することや下剤や消化管運動促進剤、漢方薬、浣腸などで排出させる方法しかないとは言え、2012 年以降、新規の下剤が登場しており、便に水分を取り込ませ適切な硬さにするものや、服用後の腹痛を軽減するものなどがあると紹介した。

便通を促す新薬の特徴などを紹介する土山先生

最後に、排泄管理は、栄養管理や呼吸管理などと並び、生きていくうえで必須の管理であり、医療者・介護者が望ましい食生活や薬剤の適正使用などの知識を深めることが患者の生活の質を高める上で重要であると訴えた。

参加者の声

・神経疾患の利用者さんたちが便通コントロールで悩む場面が多いため参加しました。パーキンソン患者の方の便秘のメカニズムや薬についてのお話もあり、体調管理していくなかで、便秘についての聞き取りや対応について今まで以上に丁寧に行っていこうと思いました（看護師）

・排便がうまくいかず悩んでいる方がとても多く、相談を受けるが解決の糸口が見つからなかったが、パーキンソンを発症する前から便秘している人が多いこと、嵌入便などの知識が得られよかった（ケアマネジャー）

・ケアマネジャーとして担当している利用者にパーキンソン病で、便秘で困っている方がおられ、何か改善策があればと思い参加させていただきました。パーキンソン病のメカニズムや症状などよくわかるようにご説明いただき勉強になりました（ケアマネジャー）

・グループホームに勤務していますが、食事も食物繊維を増やすなど努力はしていますが、やはり薬に頼っているので、なにか良い方法があれば知りたいと思い参加しました。便通のメカニズムや新薬を教えていただきよかったです（介護士）

・パーキンソン病の治療、特に便コントロール、内服調整などがとても大切であることがわかりました。（看護師）

兵庫県保険医協会のホームページは

http://www.hhk.jp/

＊生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！

幹事会だより

第 386 回　10 月 3 日 (木) 伊丹市立図書館ことば蔵　参加 5 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

10/2 現在　医科 351 人（75％）、歯科 202 人（61％）

◆情勢と医療運動対策

県下で分娩を中止する医療機関が相次いでいることについて、市立宝塚病院では他の病院や大学病院医局と協力体制を取っているものの、再開のめどが立っていないこと、そもそも産科医の絶対数が不足していることなど意見交換した。

◆当面の支部活動

第 34 回支部総会（詳細は 4 面）

日　時　11 月 4 日（月・祝）14 時～　於・宝塚ホテル

14 時 15 分～　総会議事（若竹の間）

15 時～　総会記念講演（シルバーの間）

「自分で決める、子宮頸がん予防 HPV ワクチン」

講師：村中璃子先生（医師・ジャーナリスト）

17 時～　懇親会（オーシエルの間）

◆次回幹事会

11 月 7 日（木）14 時 30 分～　宝塚市中央公民館

お問い合わせは℡ 078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料　（0120）979-451

Web site でも
ご覧いただけます

〈10 月のテーマ〉

月曜日　医療と消費税増税
火曜日　保険でよりよい歯科医療を
水曜日　スポーツと疲労骨折
木曜日　もっと補聴器を使おう
金土日　高齢者の皮膚のかゆみ

＊ 14 日は金土日のテーマ、22 日は月曜日のテーマを放送します。

〈11 月のテーマ〉

月曜日　子どものインフルエンザ
火曜日　親知らずは抜くべきか
水曜日　知っておきたい不整脈の話
木曜日　ケガした時の RICE（ライス）処置
金土日　心気症（身体表現性障害）

＊ 4 日は金土日のテーマを放送します。

＊都合により、テーマの一部を変更する場合があります。

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 ／ FAX 078-393-1802　e-mail　arimoto@doc-net.or.jp　担当；有本まで